



01. 三重県庁前をスタートした第一走者の選手たち。02. 紀宝町を代表する駅伝選手たち。



第10回美し国三重市町対抗駅伝 団結した走りで敢闘賞を受賞!!

早春の伊勢路を県内29市町の代表選手が駆け抜ける「第10回美し国三重市町対抗駅伝」が2月19日、津市から伊勢市を結ぶ10区間、41.695kmのコースで行なわれました。

紀宝町チームは、全選手がタスキをつなごうと力強く走り抜けた結果、町の部で10位、総合の部では前回大会より7つ順位を上げる22位となり、みごと敢闘賞を受賞しました。

また、本町出身でリオ五輪女子3000m障害物日本代表の高見澤安珠選手（松山大学3年）が紀宝町チームで出場し、町の部8区（20歳以上女子）において区間新記録で区間賞を受賞し、紀宝町チームの順位を上げる原動力となりました。

Town topics
2 / 19

鈴鹿大学の学生が国際化の取り組みを報告

ウミガメ公園に英語案内板など設置

道の駅「紀宝町ウミガメ公園」で3月10日、町、紀宝町ウミガメ公園、鈴鹿大学が連携し、道の駅「紀宝町ウミガメ公園」における国際化の対応に関する取り組みについての報告会を開催しました。

これは、東紀州地域への外国人観光客が増加する中、来訪者へのおもてなしとして、昨年4月から1年かけて、鈴鹿大学3年生の学生9名が、情報発信や施設の内容を簡単に外国人に案内できるための取り組みを行ったものです。

学生たちは、作成した同公園のPR動画や案内板、避難誘導案内板などを披露し、1年間の活動を振り返りながら、作成にあたり気がつけた点や苦労した点などの報告を行いました。



鈴鹿大学の学生と作成した案内板

Town topics
3 / 10



第11回社協つれもてまつりを開催

絆を深め、福祉の輪を広げる!

町社会福祉協議会は2月26日、福祉センターで第11回社協つれもてまつりを開催しました。

このイベントは、地域の絆を深め、福祉の輪を広げることを目的に毎年開催されており、食べ物の容器やはしなどの持参を呼びかけたエコイベントを提唱しています。

来場者たちは、「まんぷくエリア」、「あそび・まなびエリア」、「ふれあいエリア」に分かれた会場内で、フリーマーケットやゲーム、防災啓発など、さまざまなブースを楽しみました。午後からは、みんなが集う場所づくりをテーマにしたオリジナル映像の上演、座談会のほかマジックショーなどが行われ、大いに盛り上がりました。

Town topics
2 / 26



01. イベントには多くの来場者が。02. 子どもたちに人気だったマジックショー。



紀宝芸能発表会パート2を開催

13団体が見事な芸能を披露する

紀宝町文化協会は2月19日、まなびの郷で芸能発表会パート2を開催し、日本舞踊や詩吟など13団体が日ごろの練習の成果を発表しました。

オープニングは鶴殿ばやし保存会子供会がいきいきとした元気な踊りを披露しました。その後、詩吟や詩舞、社交ダンス、日本舞踊、太極拳など、各団体ともに見事なステージを披露しました。

訪れた人たちは、各種団体が発表する華々しい様子に見入り、大きな拍手を送っていました。



Town topics
2 / 19

01. レクダンス讃寿会。02. 鶴殿レクダンスサークル。03. 紫海流。04・16・18. 御舟会。05. 鶴殿吟剣詩舞道会。06. 紀宝日舞の会。07. 紀宝太極拳。08・10. 友葉会。09. 鶴殿ばやし保存会子供会。11・14. ももの会。12・15. 若葉会。13. 三音会。17. 亀甲会。